



芸術新潮 特別企画

西中千人×山田雅美

作品に日本人の感性を封じこめて

精魂こめて作り上げたものを、あえて叩き壊す。そして別のガラス片を継いで完成に導く。西中千人による「呼継」作品は欧米でも評価が高く、オックスフォード大学のアシュモレアン博物館に続き、このたびヴィクトリア&アルバート博物館(以下V&A)にも収蔵されることが決まった。ちょうど彼の個展も巡回中であるこの機会に、V&Aの学芸員、山田雅美さんと西中作品について語り合つてもらつた。

山田 西中さんによる水指と花瓶を収蔵することになりました。日本の美意識を大切にしながら、素材においては全世界で身近に存在するガラスを使用している点がまず興味深いですね。色使いやデザインの新奇性にも注目しています。

西中 色使いは歌舞伎の衣装に着想することがあります。あの色の組み合わせ方は、洋服では考えられませんよね。見、私の作品は日本の伝統とは無縁に映るかもしれません、色だけでなく、美意識もこの国ならではのものから触発されています。陶器の欠損部分に別の陶片を当てて補う呼継は、金継と同様に室町・桃山時代から続くとされる修復の技。それをガラスに応用しているのです。

山田 近年は海外で金継が流行していて、ロンドンのアートショウなどでは金継キットを売っていますよ。

西中 継ぐことの意味も伝わっています



〔呼継〕夏の日 2020年 ガラス、金箔、銀箔 高33cm
〔西中千人展 呼継 叩き壊して生まれ変わる〕出品作
(左頁下の作品も)

V&Aに収蔵されることになった《呼継「悠久」》(2020年、高42cm)です。黒を基調にした作品は、日本画に通じる余白を意識して制作。あえて隙間(=余白)を作るために継ぐゾ!という意気込みです。

Profile
にしなか・ゆきと

1964年、和歌山県生れ。造形作家。カルフォルニア芸術大学でガラスアートと彫刻を学ぶ。現在は日本を拠点に国内外で作品を発表。2019年には京都・法然院に世界初のリサイクルガラスによる枯山水《つながる》を奉納した。



Profile
やまだ・まさみ

1984年、東京都生れ。ロンドン、ヴィクトリア&アルバート博物館の東洋部日本美術担当学芸員。大学で西洋美術史を学んだのち、ロンドンの大手オークション会社の日本美術部門勤務を経て、2018年より現職。



〔呼継 宙ソラ〕 2021年 ガラス、金箔、銀箔 長31cm

Exhibition

西中千人展 呼継 叩き壊して生まれ変わる

6月16日~22日
日本橋高島屋 本館 美術画廊

住所 ● 東京都中央区日本橋2-4-1
電話 ● 03-3211-4111(代表)
開廊時間 ● 10:30~19:30(最終日は~16:00)
休館日 ● 会期中無休

その他の開催会場
5月19日~25日】ジェイアール名古屋タカシマヤ
美術画廊
4月28日~5月4日】岐阜タカシマヤ 美術画廊

ね。ひび割れは本来ならば欠点。でもそれを個性として受け入れ、美に昇華させるのが金継です。海外で作品を発表した際、来場者がそう仰って、そこまで理解してくださつていて感動した経験があります。

山田 欧米人にとっては、壊れたものに美を見出すという考え方には衝撃的だったでしょう。金継人気は、現在のサステナビリティにも通じるその精神性への共感に起因するところが大きいです。西中さんは日本人に受け継がれてきた感性を貴びながら、貪欲に新しい表現に取り組んでらつしやる。インスピレーションを得るために、意識的に制作を離れて旅行をされますよね。

西中 一年のうち、二ヵ月ほどを旅に費やします。人知を超える造形や、悠久の時の結晶を求めてフラフラと。たとえば

「常に生まれ変わり、今を超るために、作ったものを自ら叩き壊して継ぐ」と言う西中は、自身を菓食う既成概念をも叩き壊しながら、次なる表現に挑んでいるわけだ。展覧会には、オブジェ、茶道具、花器、食器など約70点が並ぶ。ひび割れという欠点を美ととらえ、あえて強調して修復し、魅力へと高める。その日本独自の「継ぐ」の美意識を確立する西中作品に、見る者は何を感じるだろうか。